令和7年度

教育総務部の方針書

部　名	教育総務部
部長名	近江　秀和

1. 部の使命（ありたい姿）

すべての市民が、生涯学習やスポーツ活動を通じて、ふるさと横手に愛着と誇りを持ち、支えあい、生き生きと暮らすことができるよう、学校環境、社会教育環境、スポーツ環境の整備に取り組みます。

担当政策	政策2：学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-1：横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実　2-2：安全で安心して学べる教育環境の整備 2-3：元気なまちを築く生涯スポーツの促進　2-4：心を豊かにする生涯学習の推進 2-5：よこての伝統文化の継承と再発見

2. 部の抱える課題（現状）

①学校施設の老朽化対策と教育デジタルトランスフォーメーションを進める必要があります。
②横手市立体育館の開館に向けた準備を進める必要があります。
③横手市民会館の老朽化対策を進める必要があります。
④市民の読書活動を推進し、市立図書館機能の充実を図る必要があります。
⑤地域の伝統文化を象徴する歴史的資源の継承と活用を充実させていく必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

市民のウェルビーイング向上を目指して、
職員の心と力を合わせ、学びとスポーツの環境づくりを進めます

4. 今年度の方針

①学校施設の老朽化対策と小中学校のICT環境整備を進めます。
②横手市立体育館の開館準備を進めつつ、各スポーツ施設の整備と適切な維持管理を行います。
③横手市民会館の具体的な老朽化対策を検討します。生涯学習館Ao-naにおいては持続的な事業の確立、企画を進めます。
④市民の読書活動を推進するとともに、6図書館が連携して図書館機能の充実に努め事業を実施します。
⑤地域との連携を深めつつ、地域の伝統文化を学べる環境づくりを進め、後三年合戦関連遺跡などの歴史的資源の調査や価値付けを展開します。
⑥持続的で、時代の変化にも対応する教育行政を検討し、各計画を策定します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全で安心な教育環境の整備と教育行政の充実
	取組内容	・児童生徒1人1台端末の更新事業を進める。 ・統合型校務支援システムの導入を進める。 ・小中学校体育館照明LED改修事業を進める（栄小、山内小、大雄小、横手北中、横手明峰中）。 ・小学校長寿命化対策のための大規模改修事業を実施する（醍醐小、吉田小）。 ・教育ビジョン、スポーツ推進計画等の策定を進める。
(2)	実現したい成果	生涯学習と生涯スポーツの環境整備
	取組内容	・横手市立体育館開館に向けて、指定管理者の選定や備品購入等、準備事業を進める。 ・各スポーツ施設を活用して市民の生涯スポーツの推進に取り組むとともに、プロスポーツや全国大会をはじめとした各種イベントの開催を契機に、スポーツを核とした地域の活性化を図る。 ・横手市民会館の老朽化について対策方法を検討し、調査等実施する。 ・生涯学習館Ao-naと市内6図書館が連携し、市民の利用促進を図る事業に取り組む。
(3)	実現したい成果	地域連携と伝統文化の継承・再発見
	取組内容	・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取り組みを支援し、地域全体で子供たちを育む学校・地域づくりを推進する。 ・各地域の建造物、美術工芸品等の調査や沼柵推定地等の埋蔵文化財調査に着手する。 ・多様な分野の新たな歴史的資源の再発見と伝統文化を学べる環境整備の検討に取り組む。 ・市制施行20周年を記念し、文化芸術の各種イベントを開催する。

6．方針に対する年度上期（4月～9月）の取組状況

（1）安全で安心な教育環境の整備と教育行政の充実
・児童生徒1人1台端末基本パッケージ（端末本体等）発注済み。
・醍醐小学校大規模改修工事8月末終了。吉田小学校大規模改修工事は予定通り進捗中。
・各校LED工事は順次工事発注、着工済み。

（2）生涯学習と生涯スポーツの環境整備
・市立体育館の主要備品について順次購入手続きを実施し発注済み。
・グリーンスタジアムよこてのスコアボード改修工事5月終了し、プロ野球イースタン・リーグ公式戦（7月）、天皇賜杯全国軟式野球大会（9月）等のスポーツイベントが開催された。
・市民会館耐震診断及び耐震改修設計業務委託発注済み。
・Ao-na開館1周年記念イベントはじめ様々な事業を展開した。Ao-naはオープン以来、来館者数のべ48．1万人（9月末現在）となった。
・市制施行20周年にあたり、横手図書館をはじめとして各図書館が連携し特別展示や巡回展示を行った。

（3）地域連携と伝統文化の継承・再発見
・歴史まちづくり連絡調整会議、歴史的風致維持向上協議会、歴史文化遺産保存活用推進協議会の開催と各計画事業進捗管理。金沢城跡総括報告書刊行。
・市制施行20周年記念事業として地域の歴史的資源にスポットを当てたイベント（勾玉展示、講座）を実施したほか、市民大学講座、まちあるき、各資料館企画展を通じた地域の伝統文化再発見のイベントを開催した。

7．年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

・児童生徒1人1台端末については、応用パッケージ（アプリケーションソフト等）の発注を実施し、来年度から児童生徒に新端末が行き渡るよう設定等も含めた準備を進める。統合型校務支援システムについては、セキュリティをはじめ課題をすべく解決を含め実施内容の見直し、検討を行う。
・教育ビジョン及びスポーツ推進計画の策定については、素案作成後、各審議会等での審議及びパブリックコメントを経て、年度内に公表する。
・市立体育館については、引き続き段階的に備品購入を実施するほか、指定管理者を公募し、来年度オープンに向けた準備業務を着実に進める。
・市民会館については、耐震改修にかかる調査結果を元に、具体的改修あるいは今後の維持管理方針を決定していく。
・後三年合戦関連遺跡調査指導委員会準備委員会を開催し、次年度以降の調査方針を検討する。

8．総括（取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】）